

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学Ⅱ	PSF12-001 OSF12-001 HSF12-002	(リ) 必修 (人) 選択	2	(リ) 1 (人-24) 2 (人 25) 1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 宏史 他	D305	sakamoto	木曜日 10:00~12:40		
授業の目的・概要	理学療法・作業療法など医療の専門領域を学ぶための基礎として、人体の構造と機能に関する正確な知識と理解が必須である。解剖学Ⅱでは、中枢神経系(脳・脊髄)の構成および末梢神経(脳神経・自律神経)の構成を理解することを目的とする。さらに、これらの神経が支配する構造と機能とともに、神経系と関連が深い「感覚器系」の構造と機能を理解することを目的とする。講義では、①中枢神経系(脳・脊髄)、末梢神経系(脳神経・自律神経)の構築と解剖学的位置について、②それらの主な機能について説明する。③感覚器の構造と関連する神経の入力・出力について説明する。対面授業を基本に行うが、Microsoft Teams を使って資料の説明や、小テストを行う。さらに、学外で行われる「肉眼解剖学実習」を通して人体各器官の構造と位置関係を理解し、解剖学実習、解剖学ⅠおよびⅡで学んだことを復習し、深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	[事前・事後学習について] 下の授業計画に記された各回の内容について、予習・復習を兼ねて生理学、運動学の教科書や講義資料にも目を通し、人体の構造や機能を多角的に理解することを勧める。				
教科書	解剖学 標準理学療法学・作業療法学(専門基礎) 第6版/ 野村 巖 (編集) / 医学書院/ 2024				
参考書	解剖学講義 第3版/ 伊藤隆原著/ 南山堂 /2012 標準組織学 総論・標準組織学 各論 第6版/ 岩永敏彦 他/ 医学書院/ 2022				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	中枢神経系の構成および末梢神経(脊髄神経・脳神経・自律神経)の構成を説明できる。			HSU (1)、(2)、RH (2)	
②	各神経が支配する構造と機能を説明できる。			HSU (1)、(2)、RH (2)	
③	感覚器系の構造と機能を説明できる。			HSU (1)、(2)、RH (2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	神経総論: 神経系の基本的な構成について学ぶ。髄膜および脳室について学ぶ。	[担当: 坂本、志茂]	講義	教科書 P.225-232 配布資料で予習・復習	3
2	中枢神経 1: 神経系の発生および脊髄の構造について学ぶ。	[担当: 坂本、志茂]	講義	教科書 P.237-241 配布資料で予習・復習	4
3	中枢神経 2: 脳幹(延髄・橋・中脳)・小脳の構造および機能について学ぶ。	[担当: 坂本、志茂]	講義	教科書 P.241-252 配布資料で予習・復習	4
4	中枢神経 3: 大脳・間脳の構造および機能について学ぶ。	[担当: 坂本、志茂]	講義	教科書 P.252-264 配布資料で予習・復習	4
5	神経学総論・中枢神経のまとめ(小テスト) 末梢神経の概略: 末梢神経系の基本的な構成について学ぶ。	[担当: 坂本、志茂]	講義	教科書 P.274-276 配布資料で予習・復習	3
6	脊髄神経 1: 頸部および上肢の神経について学ぶ。	[担当: 志茂、坂本]	講義	教科書 P.276-285 配布資料で予習・復習	4
7	脊髄神経 2: 体幹および下肢の神経について学ぶ。	[担当: 志茂、坂本]	講義	教科書 P.285-296 配布資料で予習・復習	4
8	脊髄神経のまとめ(小テスト) 脳神経 1: 脳神経Ⅰ~Ⅴについて学ぶ	[担当: 志茂、坂本]	講義	教科書 P.296-300 配布資料で予習・復習	3
9	脳神経 2: 脳神経Ⅵ~ⅩⅢについて学ぶ。	[担当: 志茂、坂本]	講義	教科書 P.300-308 配布資料で予習・復習	4
10	自律神経: 自律神経系の構成や機能について学ぶ。	[担当: 志茂、坂本]	講義	教科書 P.308-311 配布資料で予習・復習	4
11	脳神経および自律神経のまとめ(小テスト) 感覚器系 1: 外皮の基本構造および皮膚の感覚器について学ぶ。	[担当: 志茂、坂本]	講義	教科書 P.315-319 配布資料で予習・復習	3

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

12	感覚器系 2:視覚器（眼球・副眼器）の基本構造について学ぶ。	[担当：志茂、坂本]	講義	教科書 P.319-323 配布資料で予習・復習	4
13	感覚器系 3: 平衡聴覚器（外耳・中耳・内耳）、嗅覚器、味覚器の構造について学ぶ。	[担当：坂本、志茂]	講義	教科書 P.323-327 配布資料で予習・復習	4
14	神経路（伝導路）について学ぶ。	[担当：坂本、志茂]	講義	教科書 P.240,264-273 配布資料で予習・復習	4
15	肉眼解剖学実習	[担当：坂本、志茂]	講義・実習	教科書、授業内で配布した資料・課題を確認、提出する。	8
試					

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末に期末テスト（25%）ならびに授業内におこなう小テスト（3回 合計 75%）で評価する。主に教科書および授業内で配布する資料中のキーワードから出題する。	テストを採点后、Teams を利用して講評
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	志茂 聡
-----------	------

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

教員の実務経験	担当する全教員は解剖学で博士号（医学）を取得している。本学（専任教員）で長年教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。
実践的授業の内容	人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によってある程度理解することができるが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識や具体的イメージの獲得は簡単ではない。この授業では、実際に人体解剖に長年携わってきた教員により、経験に基づく多角的視点から具体的な解説がなされるため、臨床家を志す受講者や人体解剖学に興味がある受講者にとって、分かりやすく現実に即した知識を得ることができる。
そ の 他	対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン（Teams）を利用する。また、授業内に予定している小テストは、Teams を利用するので、PC またはタブレット端末を持参すること。 今後の社会情勢によって、シラバスが変更される可能性がある。 なお、「肉眼解剖学実習」は、山梨大学医学部解剖学実習室に於いて実施予定。詳細は、後日連絡する。